

# 大会における注意事項

第32回東北秋季ジュニアテニス選手権大会・RSK選考会 令和7年7月30日・31日

参加選手 各位

ディレクター 萩庭 純  
レフェリー 小野 王

- 天候その他により試合の有無が不明の場合でも、受付時間までに受付を済ませて下さい。  
\*7月30日の出席受付時間 = 8:30～ 9:00<切り> 補欠選手も受け付けます。  
受付の際、密にならないように間隔を取って、時間の余裕をもってお願いします。  
\*参加料は出席受付時に受領します。(ドロー掲載後の欠席も支払いが必要です。ただし、補欠者が入り補充された場合は支払いが不要となります。)  
当日、各県ごとに男女分かれて受付できるように誘導します。ご協力をお願いします。  
\*補欠選手はドローに欠員が生じた場合に出場できます。補欠選手は受付時間までに本部で受付を済ませてください。ドロー下欄に氏名が載っていますが、出場義務はありません。
- 開会式等はありません。全てオーダーオブプレーで進行します。選手自身の責任で確認してください。
- 試合は原則として、本戦1R～QFは8ゲームプロセット、準決勝より2タイブレークセット、ファイナルセット10ポイントマッチタイブレークで行います。  
5位～8位順位決定戦も行います。(8ゲームプロセット)  
フィードインコンソレーションは全試合1セットマッチで行う予定です。ただし、天候等によって変更する場合があります。  
ノーレットルールを採用する。  
\*使用球はDunlop AOです。  
<進行予定は次の通りです。>

日程	公式練習	試合	進行予定
初日 (30日)	8:50～9:10	9:20～	男女本戦1・2R・QF コンソレーション1・2R
第2日 (31日)	8:50～9:10	9:20～	男女本戦SF・F・3位決定戦 5位～8位決定戦 コンソレーション QF, SF, F

- 試合前の練習は3分以内とします。各コートにタイマーを置きますので、各自計ってください。
- 試合はセルフジャッジで行います。
- ドロー番号の若い選手は、大会本部で使用球を受け取り下さい。
- 試合の結果は試合終了後、速やかに、勝者が本部に使用したボールを持って報告してください。
- 本戦の敗者もコンソレーションがあります。進行上、前の試合の終了直後にオーダーが入る場合(突然の変更)があります。オーダーオブプレーボードを確認してください。
- 大会期間中における負傷、事故等については応急処置を取りますが、その他については主催者加入傷害保険の範囲内とします。
- 公式練習は8:50～9:10とし

下記の通り各県毎に割り当てます。

青森県	1.2.	宮城県	9.10.19.20
秋田県	3.4.	岩手県	11.12.13.14.15
山形県	16.17.18.	福島県	5.6.7.8

(練習前に各県プラクティスコートのネット張り・スコアボード等準備に協力をお願いします。)

12. 応援の際には、密にならないようにお願いします。
13. 県立中央公園では、朝の個人貸し出しを行わないことにしました。個人では予約できません。  
午前7時から8時までの1時間、秋田県テニス協会予約しました。練習したい方は、秋田県  
テニス協会ホームページ からお申し込みください。 <https://akita-tennis.com/>  
使用料 500 円/1 面をいただきます。  
前日の練習コートは協会では予約していません。各自で、大会会場に予約してください。
14. リストの誤記などにお気づきの方は、『7月27日』までに秋田県テニス協会に連絡下さい。  
可能な限り本ドローに反映させますが、以降は大会当日対応になります。  
【連絡先：秋田県テニス協会 Tel・Fax 018-863-2940 E-mail ata@akita-tennis.com】  
【緊急大会当日連絡先 090-6454-7600 萩庭】  
\*大会会場は秋田県立中央公園コート(砂入り人工芝) 秋田市雄和椿川字駒坂台4-1 018-886-4141  
会場付近には、コンビニ等がございませんので、ご注意ください。

以上

第32回東北秋季ジュニアテニス選手権大会・RSK選考会 選手リスト

男子

	シード	氏名	所属	県名
1	1	中村 匠吾	岩手中学校	岩手
2	2	本間 哲平	クレイルテニスアカデミー	岩手
3	3	石毛 透季	ベルサンピアTC	宮城
4	4	佐川 駿佑	フジサワテニスクラブ	岩手
5	5	高梨 雅人	More-Tennis	宮城
6	6	紺野 夏生	GRITふくしま	福島
7	7	大原 遥真	アズーレいわきTC	福島
8	8	本郷 優祐	LINK SPORTS CHUODAI	福島
9		鈴木 蓮人	KJ-TENNISACADEMY	青森
10		佐々木 陽	八戸ロイヤルTC	青森
11		那須 奏太	KJ-TENNISACADEMY	青森
12		鈴木 風汰	聖愛中学	青森
13		湊 祐輔	秋田アスレティッククラブ	秋田
14		小木田 彰馬	秋田アスレティッククラブ	秋田
15		仁木 喜久	秋田アスレティッククラブ	秋田
16		作田 光	秋田アスレティッククラブ	秋田
17		小泉 昂大	フジサワテニスクラブ	岩手
18		木谷 航	クレイルテニスアカデミー	岩手
19		外谷 柊	山清テニスクラブ	岩手
20		八重樫 隼	TOY'S Tennis Lab	岩手
21		濱田 裕仁	ウイニングショット	宮城
22		菅崎 侑世	More-Tennis	宮城
23		早坂 遥太	ニューフロンティア	宮城
24		高橋 葵人	ニューフロンティア	宮城
25		武田 悠斗	Antelope	山形
26		大内 陽翔	Antelope	山形
27		阿部 蒼和	ITSベルズ	山形
28		斎藤 海	ITSベルズ	山形
29		中田 一颯	常磐ジュニアTC	福島
30		鈴木 昂	team S	福島
31		斎藤 直哉	GRITふくしま	福島
32		星野 叶多	アズーレいわきTC	福島
補欠1		斉藤 京太郎	TAKEHAN TENNIS CLUB	秋田
補欠2		奈良 怜旺	青森JTAC	青森

女子

	シード	氏名	所属	県名
1	1	星 柚夢	ITSベルズ	山形
2	2	佐藤 凜	F-TENNIS	宮城
3	3	石田 真子	アズーレいわきTC	福島
4	4	佐々木 菜悠	ウイニングショット	宮城
5	5	兵澤 向日葵	リトルサンテニスクラブ	岩手
6	6	高橋 星愛	TOY'S Tennis Lab	岩手
7	7	角田 千代花	エムズTP	宮城
8	8	藤澤 仁菜	フジサワテニスクラブ	岩手
9		越田 くるみ	リバティ	青森
10		菅原 暖叶	青森JTAC	青森
11		小沢 星來	八戸ロイヤルTC	青森
12		長尾 心陽	青森JTAC	青森
13		佐々木 ゆい	秋田アスレティッククラブ	秋田
14		湊 小摘	秋田アスレティッククラブ	秋田
15		塚田 絆愛	下新城小学校	秋田
16		桃園 実和	秋田アスレティッククラブ	秋田
17		細川 璃乃愛	リトルサンテニスクラブ	岩手
18		田村 若夏	フジサワテニスクラブ	岩手
19		島田 希依來	フジサワテニスクラブ	岩手
20		藤澤 芽依	フジサワテニスクラブ	岩手
21		齋藤 かいり	エムズTP	宮城
22		佐藤 稟心	エムズTP	宮城
23		高橋 桜瀬	More-Tennis	宮城
24		杉谷 由己	ダンロップ泉パークタウンTC	宮城
25		伊藤 帆奏	ルネサンス山形	山形
26		小内 夏希	ルネサンス山形	山形
27		彌富 心遥	プラスワン	山形
28		瀧本 彩乃	OTC	山形
29		小野 あかり	いわきローンTC	福島
30		斉藤 茉那花	いわきニュータウンTC	福島
31		渡辺 彩加	いわきローンTC	福島
32		大竹 七愛	AIZTC	福島
補欠1		門間 莉緒	仁井田小学校	秋田
補欠2		新岡 煌理	IVer.	青森

## ジュニア大会時の保護者、指導者及び応援の方へのお願い

東北テニス協会 ジュニア委員会

本協会は、日本テニス協会の定めている「JTA ジュニア憲章」に基づき東北各県テニス協会やジュニア育成に携わる多くの指導者さらには保護者の方々と連携を図りながら、ジュニア選手がゲームの勝敗だけに終始するのではなく、ジュニア選手一人ひとりがテニスをとおして、より良い大人を目指し健全に成長することができる環境を目指しております。

しかし昨今をみても、残念ながらジュニア選手を取り巻く試合環境において、様々なトラブルが起きております。ジュニア選手に向けて良いテニス環境を整えてゆくためには、私たち大人（大会運営者、指導者、保護者等）の共通の指導理念が必要です。

そこで、選手のフェアプレーに続き、大会中の応援についてのお願いとして、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 試合中は、選手同士のセルフジャッジを尊重し試合進行を見守る。
- ② ナイスプレイには拍手をし、ダブルフォルトや明らかなミスショットにおいては拍手を控える。
- ③ ポイントやゲームカウントは選手のみで行うように見守る。
- ④ 試合進行上の疑問や相手の言動への疑問は選手自らロービングアンパイア及びレフェリーに相談させる。
- ⑤ 試合後は、両選手に対し拍手をして試合の健闘を称える。

2025年7月

# J T Aジュニア憲章

この一球は絶対無二の一球なり されば身心を挙げて一打すべし

この一球一打に技を磨き體力を鍛へ精神力を養ふべきなり

この一打に今の自己を發揮すべし これを庭球する心といふ

福田雅之助

## 1. テニスに親しむ

心身ともにたくましく育つように、スポーツ心を身につけよう。

## 2. テニスを楽しむ

全国の仲間とコミュニケーションを図り、テニスの輪を広げよう。

## 3. テニスを理解する

ルールを理解し、正しいマナーと思いやりの気持ちを養おう。

## 4. テニスで競う

育成・強化を通じて、お互いに競い合い、理想を追求しよう。

(財)日本テニス協会は、地域テニス協会、都府県テニス協会や全国の指導者保護者と連携し、将来の日本を担う子供たちが、健全で活力あるスポーツ活動を行うことを願い、J T A ジュニア憲章を制定する。

制定 2006年2月2日



# ジュニア選手 心得

私たちは、大好きなテニスの価値を高め、テニスに関わる自分自身の生活を豊かなものにするため、次のことをジュニア選手の心得とします。

## 1. 生活を通して

- ★フェアプレイ 試合で培ったフェアプレイ精神を活かし、家庭や学校などを含めた社会活動においても、ルールを守り、フェアですがすがしい行動を心がけます。
- ★コミュニケーション コートの内外を問わず、知り合えた仲間とのコミュニケーションを図り、テニスの輪、友達の輪を広げるようにします。
- ★自己管理 誇りあるテニスプレーヤーになるために、食事をバランス良く摂り、勉強もおろそかにせず、家庭内や学校生活などでの日常生活を通して、しっかりと自己管理に努めます。
- ★土台作り 将来、大きく成長するために、オンコートのテニスの練習だけではなく、他のスポーツや体づくりに取り組み、運動能力を高めることにも挑戦します。また、オーバーワークに注意して傷害を防ぐようにします。

## 2. コートでは

### ★尊敬と感謝

家族、クラブの仲間やコーチはもちろん、試合会場、大会宿舎などでの「テニスに関わるすべての人々」に対して、尊敬と感謝の気持ちをもって接します。そして何よりも、テニスが出来ることへの感謝の気持ちを持ってプレイします。

- ★ベストプレイ どんな状況でも勝利のために、最後までひたむきに全力を尽くす「ベストプレイ」を心がけ、たとえ勝っても「相手を思いやり」、また、たとえ負けても「敗戦を誇りある態度」で受け入れ、しっかり相手と握手を交わします。

## 3. 夢を持って

- ★知識を知恵として取り出し工夫を重ね、夢の実現に向かって日々楽しく「挑戦」します。

